

会 議 録

会議名 (付属機関等名)	川西市参画と協働のまちづくり推進会議 令和2年度第2回B部会		
事務局(担当課)	総合政策部 参画協働課		
開催日時	令和2年8月18日(火) 午後7時00分から午後8時30分		
開催場所	ウェブ会議システムにより開催 (傍聴場所:川西市役所 7階 701会議室)		
出席者	委員	田中晃代、横谷弘務、延命寺陽子、金剛丸朋子、田中真優、 中村佳子、山澤剛	
	その他		
	事務局	参画協働課長 同課課長補佐、同課主任1名	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由			
会議次第	<p style="margin-left: 40px;">1 開 会</p> <p style="margin-left: 40px;">2 議 事</p> <p style="margin-left: 80px;">B部会のテーマ</p> <p style="margin-left: 80px;">「(地域・市民活動に対して、)やる気や興味・関心が薄い 方を巻き込んでいくには」</p> <p style="margin-left: 40px;">3 閉 会</p>		

18:45～

1 開 会

2 議 事

B 部会のテーマ

「(地域・市民活動に対して、)やる気や興味・関心が薄い方を巻き込んでいくには」

○田中部会長

- ・ B部会としては「川西源氏カルタ(案)」、「コミュニティ・ディベロップメント(案)」、「川西市の地域活動・市民活動を活発にする 行動指針 (案)」の3つを議論しているが、提案の全体像であったり、それぞれの関係性、どのように活用していくのかなどを議論したい。
- ・ 前回議論していたのは、「コロナの状況下での広め方」や「オンラインでするカードゲーム」など新しい意見が出てきた。
- ・ 本日は、(リソース・お悩み)カード、基本的なルール(進め方)、広め方、発表の資料の4点について、堀田委員が作成された資料を参考にしながら議論していきたい。
- ・ 前回、役割分担をしていこうという意見もあった。

資料に基づき、各委員の意見

< 名前 > について

- ・ 名前はわかりやすいことが大切、一旦は「川西源氏カルタ(仮)」でいいのでは。

< 目的 > について

- ・ 川西のリソース(資源)は地域ごとに異なるが、いずれのコミュニティも大切にしている。
- ・ 全てのリソースを網羅することは難しい。みんなでまち歩きして地域の資源を一緒に見つけて、カード化することも必要かもしれない。
- ・ リソースカードは半分を作成し、半分は団体など遊ぶ人が作る。
- ・ 川西ふるさとカルタ(制作:まちの宝物サポート隊)との連携を検討したい。専門的な知識が

ある人たちが作っている印象だが、専門的な知識がない人だから作れるものもあると思うので、色々と混ぜてみたい。

< 導入の背景 > について

- ・ 団体に入ろうと思うまでのハードルが高いからこそそのゲームだと思う。「行動指針」は団体に既に入っている方は理解できるが、そうでない方にはハードルが高いものかもしれない。
- ・ コミュニティは、一定のルールの下で各種団体との合議制で運営しているので、調整が大変である。一方、自治会は単位が小さいので話し合いはまとまり易い。
- ・ 自治会の方が導入しやすい。テーマによっては、コミュニティにも受け入れられる。

< 参画のプロセスと想定される導入シーン >

- ・ 自治会だったら新しい役員の方たちがアイスブレイクとして、市役所職員だったら、明確な目的を解決するブレイクスルーとして活用が期待できる。
- ・ 子ども達に遊んでもらい、その中の意見の一つを実際に実現させることで、参画を実践できる大人に成長すると思う。
- ・ 子どもの幅も幼稚園から高校レベルまで幅広い、カードの説明にも工夫が必要だ。
- ・ 一旦、基本の形を決めてから、子どもバージョンなどを考えた方がいいのでは。

< 基本ルール > について

- ・ 縛りカードは、追加ルールで「行動指針」などから「相手の話を聞く」「発表は1分以内」などピックアップできる。表記をおみくじ風にするなどの工夫もできる。縛りカードの内容次第で、様々な議論の体験ができる。
- ・ 一度、試作段階でいいので、現段階でやってみることが大切だと思う。
- ・ リアル以外でも Zoom を活用したプレイやカードをダウンロードできるものにしてみるなど。
- ・ YouTube に紹介動画をあげるといった意見もあったが、紹介できるだけのゲームをまず作ることが大切だ。
- ・ 縛りルールを工夫すればいいだけで、基本のルールは尼崎のルールをそのままでもいいと思う。

- ・ カードについても、自治会やコミュニティに個性があるならそれをリソースカードとして作ってもらった方がいい。そのためには、今あるカードでまずゲームをすることが大切だ。
- ・ zoom でカードを画面に映せばプレイできし、誰かが親になってチャットでメンバーにカードを割り振るやり方もできる。
- ・ プレイするにあたって、中村委員が作ってくれたリソースカード以外に課題と縛りカードが必要だ。

委員同士で模擬プレイ

< 設定 >

- ・ 各委員、5つリソースを考え、実際に模擬プレイを行った。
- ・ 課題は「新型コロナの影響下で家に閉じこもりがちな方に、どのようにして外で運動し、健康を維持していただくか。」を設定。

< 各委員の発表 >

- ・ 「頼光寺アジサイ」・「かわにし健幸マイレージ」のカードを使用。アジサイを観に行いくことで、マイレージポイントが貯まる企画を実施。
- ・ 「キセラ川西せせらぎ公園」・「里山」・「自治会」・「夏祭り」のカードを使用。三密を回避するため、屋外の広い場所(せせらぎ公園や里山)で夏祭りもどきのイベントを開催。
- ・ 「猪名川」・「一庫ダム」のカードを使用。ダムの周りや猪名川沿いを分散して歩く、周遊イベントを企画。
- ・ 「いちじく」・「能勢電」・「子ども園」のカードを使用。能勢電のスタンプラリーや子ども園でのラジオ体操のスタンプラリーで川西のいちじくがもらえる。

模擬プレイを終えてまとめ

< 各委員の意見 >

- ・ 今後、部会の中でやってみて、やり方を試行錯誤していきたい。
- ・ 加えてどのように広めていくか対象を誰にするかという議論に進めていきたい。

3 閉 会

- ・ 第3回は、8月25日(火)午後7時から開催予定。